

卒業生からの手紙

3

筑女に通ったおかげで、のびのびと成長でき、感謝とともに強く明るく人生をドライブしています

中学／高校／短大OG・フオート(西田)真知子
(精華会アメリカ支部長)

2年前に精華会アメリカ支部を立ちあげて

日 本を出て39年目。今はアメリカシアトル郊外の自然の中、故郷にも似た四季折々の美しさを崇め愛で、ガーデンニングに熱中。2年前にワシントン州立大学マスターガードナープログラムを受講、資格取得。自然な庭の手入れを通して、環境汚染から家族、ペット、ワイルドライフ保護をコミュニティに指導するボランティアに力を入れ、精華会アメリカ支部にもフオーカスしています。

私が精華会総会に出席したのは、卒業して31年が経っていた2001年でした。浦島花子になっていった私は、同窓生たちとの再会で忘れかけていた自分の原点に戻り、このアメリカに住む筑女のOGたちとも分かち合いたいと、2009年に精華会のご支援でアメリカ支部を立ち上げ、現在19名の会員が色々な州に散らばっています。昨秋にホノルルで催され

短大時代は団体ダンス部に所属。写真は学園祭でのひとコマ。



西田さんの思い出の1枚

「第一回精華会アメリカ支部総会」は、日本からの精華会会員も一緒に、和気藹々と友情を育むグローバルな楽しい会となりました。

今後は、精華会アメリカ支部をもっと知ってもらえるルートを使い、徐々に筑女OGを見つけ、故郷を離れて異国に住む同窓生の力になれるようなネットワークを作り、心の拠り所になればと考えています。アメリカにいなながら、親なき後も、故郷のような精華会の温かさが有難く、これすべて仏様のお導き。筑紫女学園の素晴らしさです！

子どもが生まれて気づいた筑女で学んだ仏教のありがたさ

父

の転勤で関西から福岡へ移り、中学、高校、短大英文科とずーっと筑女でした。私にとつての仏教は、級友たちと冗談を言いあつては笑いこけていた不謹慎な生徒だったゆえか、仏教の授業、行事、礼拝と、ただ義務的に受け入れてい

たように思います。そんな私が自然とお念仏を口ずさむようになったのは、産まれて間もない息子を抱え、5歳になる娘と一緒に、度々の夫の長期出張で家を守っていた頃だと思います。当時、東洋人は私一人というシカゴ郊外の白人社会に住んでいたが、冬は雪が深く、ドライブウェイの雪かきをしない車が出ない。雪に慣れていない私は産後でもあり、この重労働に涙っぽくなつていました。が、いつの間にか近所のおじさんやお兄さんがきれいにしてくれていて、他にも色々な善意の人々のお蔭で生かされている自分があることに感謝。渡る世間に鬼はなしとはよく言つたものです。

還暦入りした今言えることは、人種、文化、歴史、言葉、宗教が違った様々な外国に移り住んで、郷に入つては郷に従え、オープンマインドであれば、人種を超え、人間レベルで良い友に巡り合え、グローバルに豊かで刺激ある人生が送れるということ。どんな事情があろうとも、自分の信じることはあきらめず、

Profile

フオート(にしだ)・まちこ ●筑紫女学園中学校、高等学校、短期大学英文科卒(1970年)。外資系企業の秘書を経て1973年渡米。ダムエンジニアのご主人(アメリカ人)の仕事の関係で、シカゴやサンフランシスコなどアメリカ各地をはじめ、パキスタン、ヨルダンなどに移り住み、自身もマーケティングの仕事などに従事。2000年からシアトル在住。ライセンスを取って不動産業を営むほか、マスターガードナー、精華会アメリカ支部での活動などを楽しむ日々。



また、女学園であることで、男性を意識することなく、冗談を飛ばしながら、のびのびと成長できたからこそ、可能性を信じ自分の思つたように人生をドライブでき、感謝のうちに強く明るく生きてこられたのだと思います。筑女生であつたことを誇りに思います！在校生の皆さん、人生を面白くするものしないのも貴方次第です。人生短し、後悔を残さないよう、思いつきり自分らしく生きてください！ Best wishes & love to Chikiko!

同窓会 NOW!

記念すべき「第1回精華会アメリカ支部総会」をハワイにて開催!

昨 年10月30日、ハワイホノルルプリンスホテルにて、「第1回精華会アメリカ支部総会」が開催されました。

アメリカ支部の立ち上げにご尽力いただいたフオート真知子さんをはじめ、海外で暮らす皆様へ日本からの応援の気持ちで、第19回生の私たちも参加させて頂き、総勢18名が集まりました。当日受付では、今回お世話をして下さったハワイ在住の玲子サリバンさんが、参加者一人ひとりに美しいレイをかけて歓迎してくださり、和やかな雰囲気の中で会が始まりました。

アメリカ支部代表の挨拶、それぞれ3分間のスピーチ、その後はハワイアンダンスと、会は大いに盛り上がりました。中でも印象的だったのは、シカゴから来られた83歳の先輩。在学中のエピソードなど、かくしゃくと話されました。また、横浜の大学で教鞭を執られていて、たまたまハワイ滞在中の30代の方も出席され、老若の境目もなく、



【第19回生】波多江真知子

楽しいひとときを過ごしました。

最後は校歌を全員で歌い、締めとなりましたが、どうも仏教に基づく学園の教育や校風に対して、誇りと感謝を持っておられました。なにせ広大なアメリカの地域性を思うと、このような素晴らしい精華会を行うには、大変なご苦労があつたと思います。

意義ある第1回アメリカ支部総会に参加させていただき、感謝しますとともに、支部の発展を心より願っております。